

住まいるニュース

Vol.97

表札の選び方

表札は家の顔ともいえる、大切なものです。

表札には友人や知人が訪れてくる際の目印となったり、郵便の配送が円滑に行えたりといった実用的な役割もあります。

そんな表札の種類について、いくつかご紹介します。

■高級感のある「天然石」

天然石は強度が高く、自然のものなので雨や泥で汚れた際も楽に手入れできるのが魅力です。また1つとして同じ模様がないので、独自デザインを楽しめます。

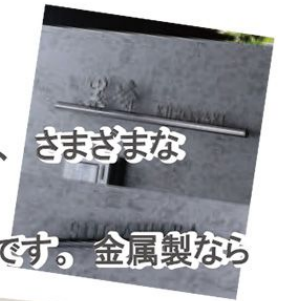
表札に使われる天然石で代表的なのは御影石や大理石です。高級感のある素材で、どんな家にも馴染みます。



■アイアンやステンレスなどの「金属」

金属製の表札は加工しやすいのがメリットです。切り文字タイプやプレートタイプなど、さまざまなデザインのアイテムが販売されており、好みに合わせて自由に選べます。

金属製の表札は表面に傷が付きやすいですが、割れたり欠けたりしにくいのが魅力です。金属製ならではのシャープな雰囲気があり、スタイリッシュな見た日になります。



■あたたかみのある「木」

木を使った表札は天然素材ならではの木目のデザインとあたたかみのある雰囲気が楽しめます。和洋どちらとも合せやすく、好みに合わせて加工しやすいので、表札のデザインで迷っている方にもおススメです。木は劣化しやすい素材ですが、長く使うほど自然素材ならではの味わいが出ます。



■耐衝撃性の高い「アクリル」

アクリルで出来た表札は透明度が高く、ステンレスなど他の素材と合わせて使われることも多い素材で、衝撃に強く、割れにくいにも魅力の1つです。ただ紫外線によって変色しやすく、砂利などによって小傷も付きやすいため、庇がある玄関や庭付きの家の玄関などへの設置がおススメです。



■個性的な「ガラス」

ガラスで出来た表札は比較的高価ですが、デザイン性が高くおしゃれに仕上がるのが特徴。加工しやすく家の雰囲気に合わせて選びやすい素材です。透明度やカラーなど豊富なバリエーションがあるので、好みのデザインに加工できます。また異素材と組み合わせることで独自性を出せる為、ユニークなデザインの表札を揚げたい方にもおススメです。

■落ち着いた雰囲気の「陶器」

陶器素材の表札にはさまざまな種類があり、焼き物の種類によって質感や色に違いが出るのが特徴です。表札として代表的なのは七宝焼や備前焼などの焼き物。渋い雰囲気がある焼き物ながら丸文字とも相性が良く、可愛いデザインが好みの方にもおススメです。



建設中現場のご紹介



M様邸(福知山市)



O様邸(福知山市)



N様邸(福知山市)



モデルハウス(丹波篠山市)



K様邸(福知山市)



Y様邸(綾部市)



D様邸(丹波市)



F様邸(福知山市)



I様邸(福知山市)

住宅事業部 STAFFコラム



今回の担当は、

設計
津田 翠
です。

椅子の歴史を辿る

インテリアのデザインが歩んだ歴史は、社会、文化、政治などの時代背景により様々な建築の外観や表現上の共通点から建築様式の時代の流れをみることができます。

今回は近代デザインのルーツとなった椅子から家具の歴史を辿ってみます。近代の椅子のルーツを探ると、イギリスのウィンザー地方で農民の家具として18世紀初めにウィンザーチェアが生まれました。アメリカに渡り自給自足の中でシェーカーチェアが生まれ、ヨーロッパでは明式の椅子や家具がもてはやされていました。1840年代にミカエル・トーネットにより開発された曲木の技術は家具産業までをも一変しました。これらの椅子は、ハンス・J・ウェグナー、ポーエ・モーエンセンなどを始めとするデザイナー、家具製造業界の多くの人々に数々の大きな影響を与えています。

①ウィンザーチェア

イギリスのウィンザー地方で手に入りやすい木を加工して、背もたれ付きで強度のあるシンプルな椅子が作られました。背もたれのデザインは時代と地域によって多様化しながら愛用され続けています。アメリカに伝わったウィンザーチェアは、独自のスタイルに生まれ変わり、デザインバランスも実用的になりました。



②シェーカーチェア

シェーカー教団が持つ清貧な思想が、一切の無駄をなくした軽くて機能的なシンプルさを作っています。材料には北米で手に入る木を使い、座は紐や手織りのテープなどで編んであります。すっきりとした直線と単純化した形態、機能性はモダンデザインに通じています。



③中国明式チェア

南宋の時代、中国では椅子に座る生活が広まり、明（1368～1644年）の時代になると庶民にも椅子生活が定着しました。木肌を生かした木工技術による組手を使い、細く美しい曲線と細工を施した折りたたみ椅子など洗練されたプロポーションが特徴で、多くの家具デザイナーに影響を与えました。



④トーネットチェア

1840年代ミハエル・トーネットによって開発された曲木の技術は、椅子づくりに革命をもたらしました。近代的な生産性を生み出す量産化の組み立てや部品の交換等、生産技術や販売促進に至るまで商品開発を手がけました。美しいデザイン、求めやすい価格、丈夫さ、軽さなど人々が求める条件を満たした椅子です。



かつては建築の地位は高く、家具などインテリアの地位は低く考えられていた流れがありましたが、本来はそうのように考えられるべきではありません。現在は技術の進歩などによってさまざまな種類や印象のものが存在し、さらにそれをオンライン購入できたり、オーダーメイドの家具を取り入れたりなど、インテリアの選択肢が沢山あるといえます。自身や家族の体格や暮らしぶり、空間のコーディネートなど大事にするポイントを押さえ、適切に選択することが大切です。

■未来を担うゼロエネルギー住宅

ウイズ
-With-

省エネの工夫で
消費エネルギーを減らし、
使うエネルギーは自ら創り出す。
究極のエコロジー住宅です。



LINEからチャット感覚で
お問合せ・カタログ請求



ヨネタ
いい家は数値に出る

本社



0120-406-217

篠山店



0120-404-309

